年度	会計	区分	所属
<2018>	<1>	<1-1-1-1>	<21>

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	会議録検索システム導入事業

所管課	21	議会事務局	

事業の目的	本会議の会議録について、インターネットを利用した迅速な検索を可能とすることにより、いつでも簡単に閲覧できるようになり、市民への情報公開や議員の調査活動の向上を図る。 また、検索は、「キーワード」、「関連語」、「発言者」、「会議名」等により行えるため、容易に過去の記録を確認することができ、議会業務の効率化にも繋がる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	議会費
項	1	議会費
目	1	議会費
細目	1	議会費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第６節　情報通信基盤の整備

補正事業概要（理由含）

〇初期導入費用
・サーバー設定
・過去の本会議データの変換
（平成27年度～平成29年度分）
〇利用料
・システム利用料（月額30,000円×1.08）
※7月以降の9ヶ月分
・本会議データの変換（平成30年度分）

（単位:円）

会議録検索システム	
・初期導入費用	42,120
・利用料	399,600
合計	441,720

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　0千円
補正後予算額　442千円

備　考

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	442
補正額	442
H30補正前予算額	
H30現計予算額	442

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	公共交通網新制度設計調査研究事業

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	公共交通空白地解消のため、市内全域を網羅する公共交通網の制度設計を行う調査研究を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	4	企画費
細目	1	本庁企画費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第３節　公共交通機関の充実

補正事業概要（理由含）	モビリテイ・マネジメントの取り組みをさらに望ましいものとしていくため、個々の実例に携わっている行政、研究者が積極的に情報交換を密に重ねる日本モビリテイ・マネジメント会議が開催されている。 宇陀市の課題である全域へ公共交通網を敷くための研究の一端として当該会議へ参加し知見を広めるとともに、公共交通施策を積極的に実施している市町村の実情を視察・研修し、制度設計に反映させる。 また、制度設計のための研究会を開催し、既存の協議会へ諮る前段の交通網形成を検討する。
補正増減内容（補正前、補正後）	【日本モビリテイ・マネジメント会議参加に係る経費】 旅費　59,460円　参加負担金　9,000円 【視察・研修経費】 旅費　122,700円　通信費　492円 ※視察先は以下のとおり コミュニティバス　長野県中川村、兵庫県西宮市 スクールバス活用　三重県鳥羽市、奈良県吉野町、奈良県十津川村　等 【研究会経費】 報償費　200,000円　旅費　3,520円　会議賄　1,440円 通信費　984円　事務用消耗品費　30,000円
備　考	市長公約 モビリティ・マネジメント：1人1人のモビリティ(移動)が、社会的にも個人的にも望ましい方向に変化することを促す、コミュニケーションを中心とした交通政策

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	430
補正額	430
H30補正前予算額	
H30現計予算額	430

特定財源の状況

事業区分	新規	事業名	地域情報化推進事業

所管課	44	秘書広報情報課	（総務部）

事業の目的

行政と地域間での情報発信・共有に向けた課題などに対して、本市のあるべき姿を明確にし、地域社会と行政が一体となってICT等を効率的に活用することについて検討し基本的な方針を定めることにより、地域活性化や市民生活の質の向上を図るため、「地域情報化計画」を策定する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	5	電子計算費
細目	1	本庁電子計算費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第６節　情報通信基盤の整備

補正事業概要（理由含）

策定委員会の委員が、フォーラムや先進地の実例などの情報収集、研修などに参加し知見を得ることにより、急速に発達する情報通信技術（ICT）を効率的に利活用することの意義などを習得し、地域情報化計画の策定に反映させる。
①地方自治情報化推進フェア2018等フォーラム参加旅費
②委員会開催、計画策定に係る消耗品費
〔策定にむけたスケジュール〕

平成30年6月	基礎資料収集、企画書作成、策定委員会設置要綱の規定
7月～8月	第1回推進委員会開催、原課にて現状洗い出し、先進地の調査、来年度予算化に向けた見積り検討
9月	第2回推進委員会開催、基本的方向性の検討と共有、来年度予算計上検討
10月	地方自治情報化推進フェア参加
11月～12月	第3回推進委員会開催、計画案の作成、関係部署への照会
1月～2月	最終調整、プラン策定

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

	補正前予算額	補正後予算額
旅費	0	440
需用費	0	50
合計	0	490

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	490
補正額	490
H30補正前予算額	
H30現計予算額	490

特定財源の状況

備　考

市長公約

事業区分	新規	事業名	やまびこホール施設整備負担金事業

所管課	41	総務課	（総務部）

事業の目的	平成29年度に指定寄附を受けた寄附金を活用して、室生向渕やまびこホールへの停電時の対策としての太陽光発電システム設置に対して負担金を交付する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	7	自治振興費
細目	1	本庁自治振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第６章　第３節　地域力の再生

補正事業概要（理由含）	（負担金補助及び交付金） やまびこホール施設整備費負担金　14,000千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　14,000千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	14,000
一般財源	
補正額	14,000
H30補正前予算額	
H30現計予算額	14,000

特定財源の状況
地域づくり推進基金繰入金 14,000千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	宇陀市室生地域文化伝習展示施設（あさぎりホール）修繕事業

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	アートアルカディア計画の目的である、文化芸術活動による地域の活性化を目指して整備した施設を住民主体で活用し、地域の魅力ある自然・生活・文化等の地域資源を掘り起こし地域の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	12	アートアルカディア推進費
細目	80	アートアルカディア推進費

根拠条例等	宇陀市室生地域文化伝習展示施設条例
総合計画	基本計画　第5章　第3節　歴史文化資源の保全と活用

補正事業概要（理由含）	傷みの激しい観覧席を宇陀市産材を使って修繕し、施設の良好な環境整備を図る。 （需用費）　3,961千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　3,961千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	3,900
その他	
一般財源	61
補正額	3,961
H30補正前予算額	
H30現計予算額	3,961

特定財源の状況
過疎対策事業債　3,900千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	ふるさと納税を活用した住民のまちづくり推進事業

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	地域の活性化を図るとともに、全ての人々がその能力を社会で発揮できる共助社会をつくっていくためには、特定非営利活動法人等による地域の絆を活かした共助の活動が重要となってくる。このような活動の推進に必要な支援策、制度設計を行うため、先進地視察によりノウハウを習得する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第６章　第３節　地域力の再生

補正事業概要（理由含）	ふるさと納税を活用して、特定非営利活動法人等の活動資金を支援する制度設計やノウハウを習得するため、先進地の視察や講師を招いて研修を行う。 ●講師謝金（100千円） ●視察研修にかかる旅費（310千円） 長崎県平戸市 広島県神石高原町 埼玉県　等
補正増減内容（補正前、補正後）	○共助社会づくり推進事業に係る増額補正 補正前予算額　0千円 補正後予算額　410千円
備　考	市長公約

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	410
補正額	410
H30補正前予算額	
H30現計予算額	410

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	一般コミュニティ助成事業

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	財団法人自治総合センターの宝くじの普及広報事業である一般コミュニティ助成事業を活用し、地域の発展を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	17	まちづくり支援費
細目	1	まちづくり支援費

根拠条例等	宇陀市コミュニティ助成事業助成金交付要綱
総合計画	基本計画　第６章　第３節　地域力の再生

補正事業概要（理由含）	宝くじの収入を財源として財団法人自治総合センターがコミュニティ活動に助成を行うことにより、地域社会の健全な発展を図るとともに、宝くじの社会貢献広報事業を行う。 募集にあたっては、まちづくり協議会及び構成する自治会に周知を行い、応募申請16件（まちづくり協議会7件自治会9件）に対して、平成30年3月30日付けにより、1団体（自治会1件）が採択された。 事業内容　コミュニティ活動に係る備品整備 採択件数　1団体 事業費　2,500千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　2,500千円
備　考	※昨年度実績 2件　3,500千円

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	2,500
一般財源	
補正額	2,500
H30補正前予算額	
H30現計予算額	2,500

特定財源の状況
雑入（財団法人自治総合センターコミュニティ助成金）　2,500千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	まちづくり協議会支援事業（地方創生）

所管課	147	まちづくり支援課	（企画財政部）

事業の目的	地域住民が身近な課題の解決に向けて、それぞれの地域の個性を活かして自立的にまちづくりを推進するため「まちづくり協議会」の活動を幅広く支援する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	1	地方創生総合事業費（まちづくり支援課）

根拠条例等	宇陀市のまちづくりの基本理念条例
総合計画	基本計画　第３章　第１節　定住拠点の構築

補正事業概要（理由含）	○地域づくりアドバイザーの充実 地域づくりアドバイザー（地域支援員）が、各まちづくり協議会（市内22地域）への活動を側面から支援を行い、地域の実情に応じた活動や組織作りに向けて支援を行う。また、地域課題解決に向けた取り組みや地域特性を活かした事業に助言し、各まちづくり協議会の連携を図る活動を支援する。 まちづくり協議会の充実を図るため、地域づくりアドバイザー（地域支援員）の増員を行う。
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　24,076千円 補正後予算額　27,297千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	3,221
補正額	3,221
H30補正前予算額	24,076
H30現計予算額	27,297

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	ラッピングトラック補助事業（地方創生）

所管課	81	企画課	（企画財政部）

事業の目的	「宇陀市まち・ひと・しごと創生総合戦略」で掲げている基本目標「しごと：地域資源を活かして育てるまちづくり」を推進するため、トラック事業者が所有の車両（トラック）を宇陀市の特産品・観光名所等でラッピングし、各所を走行することで、宇陀市の魅力を様々な地域に発信し、交流人口の増加や観光ＰＲ等に繋げる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	2	地方創生総合事業費（企画課）

根拠条例等	まち・ひと・しごと創生法
総合計画	基本計画　第５章　第５節　交流施策の充実

補正事業概要（理由含）	宇陀市のイメージアップや広報に寄与するラッピング広告を掲出するトラック事業者に対し、宇陀市ラッピングトラック補助金を交付する。 〇補助金　1,000千円 （補助額1/2以内、上限1,000千円）
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　1,000千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	1,000
補正額	1,000
H30補正前予算額	
H30現計予算額	1,000

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	ウェルネスシティ宇陀市構想策定事業（地方創生）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	ウェルネスシティ宇陀市構想の計画期間は、総合計画と同じく平成25年度から平成29年度までの5年間である。今年度に最終評価と課題、見直しを行い、さらなる生きがいを感じ、安心して豊かな生活を送れるまちを目指し平成30年度から平成33年度までの次期計画を策定する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

根拠条例等	健康増進法
総合計画	基本計画　第２章　第１節　健康づくりの推進

補正事業概要（理由含）	・ウェルネスシティ宇陀市構想計画書印刷 640円×500部×1.08＝345,600円 ・ウェルネスシティ宇陀市構想成果書印刷 ダイジェスト版 50円×3,000部×1.08＝162,000円 （広報うだ紙面等でも周知を図る。） 合計　507,600円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　508千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	508
補正額	508
H30補正前予算額	
H30現計予算額	508

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	不育治療費助成事業（地方創生）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	急速に進む少子高齢化に歯止めをかけ、定住促進に資する施策として、不育に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図ることで出生を促し、少子化に歯止めをかけ、若年層の定住促進に繋げる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	3	地方創生総合事業費（健康増進課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第２章　第１節　健康づくりの推進

補正事業概要（理由含）	不育症治療に要する費用の一部を助成し、不育に悩む夫婦の経済的負担の軽減を図る。助成金の額は、本人負担額の2分の1以内の金額とし、1年間で10万円を超えないものとする。 100,000円×1組＝100,000円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　100千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	100
補正額	100
H30補正前予算額	
H30現計予算額	100

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	地域おこし協力隊設置事業（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的

総務省のプログラムの地域おこし協力隊を活用することで、市外の住民を隊員に委嘱し、本市が目指している薬草を活用したまちづくりを推進するとともに、隊員による定住及び起業により市内産業の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第２節　商工業の活性化

補正事業概要（理由含）

現在の隊員が3年目となり、起業に特化する活動となる。現在の隊員から薬草を活用したまちづくりのノウハウを継承するために新規隊員を1名採用する。

【新規隊員分】

○共済費	176千円
○賃金	996千円
○旅費	41千円
○需用費	153千円
○役務費	69千円
○使用料及び賃借料	565千円
計	2,000千円

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
共済費	345	176	521
賃金	1,992	996	2,988
謝礼	30	0	30
旅費	273	41	314
需用費	503	153	656
役務費	554	69	623
使用料及び賃借料	1,090	565	1,655
負担金・補助及び交付金	1,030	0	1,030
合　計	5,817	2,000	7,817

財源の内訳（単位：千円）

分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	2,000
補正額	2,000
H30補正前予算額	5,817
H30現計予算額	7,817

特定財源の状況

備　　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	薬草栽培調査研究事業（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的	市内薬草栽培において、大和当帰のほかに新たな栽培品種を見い出し、薬草産業の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第２節　商工業の活性化

補正事業概要（理由含）	新たな栽培品種（甘茶、セネガ） ①甘茶は、一度定植すると30年程度収穫できるため、他の薬草に比べて栽培が容易である。また、甘味成分があることから、薬草の6次産業化に期待できる。 ②セネガは輸入品が無く、国内生産のみで流通していることから、生薬の買い取り価格が高値安定しており、生産者の所得向上が見込める。 ○旅費　100千円 ○需用費　100千円 ○役務費　10千円 ○委託費　300千円 ○使用料及び賃借料　150千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　660千円
備　考	市長公約

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	660
補正額	660
H30補正前予算額	
H30現計予算額	660

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	アントレプレナー育成循環事業 【中小企業等施設改修・設備投資補助金】（地方創生）

所管課	141	産業企画課	（農林商工部）

事業の目的	市内事業者の行う施設改修や設備投資に対し、経費の一部を補助することで、生産能力の向上やサービスの向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	8	地方創生総合事業費（産業企画課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第２節　商工業の活性化

補正事業概要（理由含）

補助額
　補助対象経費の2分の1
　上限　補助対象経費500万円以上　200万円
　　補助対象経費500万円未満　100万円

平成29年度実績　6件　4,942千円
平成28年度実績　4件　3,696千円

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
負担金、補助及び交付金	6,000	5,000	11,000

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	5,000
補正額	5,000
H30補正前予算額	6,000
H30現計予算額	11,000

特定財源の状況

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	観光誘致促進事業〔日本遺産登録に向けた神武東征イベント〕（地方創生）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	現在、橿原市や宮崎市を中心とする9県19市町村において神武東征の道の日本遺産認定を目指している。宇陀市には東征にまつわる史跡が数多く存在しており、橿原市と連携して事業を行うことでPR効果を高め、宇陀市にさらなる古代史ファンや観光客を誘客する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	1	総務管理費
目	18	地方創生総合事業費
細目	9	地方創生総合事業費（商工観光課）

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第４部　観光の振興

補正事業概要（理由含）

エウカシ・オトウカシという宇陀の地元勢力と接触、反抗したエウカシを倒すとその勢いで国中に攻め込み、大和を平定したといった神武東征にまつわる伝承や史跡にちなんだイベントを橿原市と連携して開催し、日本遺産認定を目指す。
委託料　500千円
・神武東征の道のりをめぐるウォーク等のイベント
・八咫烏をつかったデザインコンテスト

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科 目	補正前	補正額	補正後
団体旅行誘致	2,680	0	2,680
インバウンド関連（パンフ等）	500	0	500
観光客誘客案内事業委託料	4046	0	4,046
記紀万葉推進事業	1,445	0	1,445
日本遺産登録に向けた神武東征イベント	0	500	500
合 計	8,671	500	9,171

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	500
補正額	500
H30補正前予算額	8,671
H30現計予算額	9,171

特定財源の状況

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	課税更正還付金

所管課	62	税務課	（企画財政部）

事業の目的	公平かつ適正な賦課徴収事務を行い、市の財政確保に努める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	2	徴税費
目	2	賦課徴収費
細目	1	本庁賦課徴収費

根拠条例等	地方税法、宇陀市税条例
総合計画	

補正事業概要（理由含）	【課税更正還付金の増額による補正】 住民税配当割額・株式等譲渡所得割額の控除不足に係る還付金が当初見込より増額となったため。 課税更正還付金　3,800千円
補正増減内容（補正前、補正後）	当初予算額　8,700千円 支出見込額　12,500千円 補正予算額　3,800千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	3,800
補正額	3,800
H30補正前予算額	8,700
H30現計予算額	12,500

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	マイナンバーカード交付事務従事職員(臨時職員)配置事業

所管課	100	市民課	(市民環境部)

事業の目的	マイナンバーカード交付に従事する臨時職員を配置することで住民サービスの向上と窓口混雑の解消を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	2	総務費
項	3	戸籍住民基本台帳費
目	1	戸籍住民基本台帳費
細目	1	本庁戸籍住民基本台帳費

根拠条例等	電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認定業務に係る法律
総合計画	基本計画　第6章　第2節　行政サービスの向上

補正事業概要(理由含)	本年4月よりマイナポータル公共端末を利用して、市役所で写真撮影し、オンラインでマイナンバーカードの申請ができる機器の設置を行い、公共端末の利用時間・曜日を限定して行っている。 マイナンバーカードの取得を促進し、コンビニ等での証明書取得など住民サービスの向上を図るため、臨時職員を配置し、限定していた公共端末の利用時間・曜日の拡大を行う。 賃金　臨時職員賃金 マイナンバーカード申請受付・交付 860円×7.75時間×20日×5ヶ月＝666,500円 交通費　10,000円×5ヶ月＝ 50,000円 合計　716,500円
補正増減内容 (補正前、補正後)	補正前予算額　18,066千円 補正後予算額　18,783千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	286
県費	
市債	
その他	
一般財源	431
補正額	717
H30補正前予算額	18,066
H30現計予算額	18,783

特定財源の状況
個人番号カード交付事務費補助金 286千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	障がい者が暮らしやすいまちづくり推進事業

所管課	127	介護福祉課	（健康福祉部）

事業の目的	障害者基本法及び宇陀市障がい者計画に基づき、各種施策における関係機関との連携強化や障害及び障がい者に関する啓発広報活動を計画的に推進することにより、障害の有無にかかわらず、一人ひとりの希望に応じた社会活動への参加が妨げられない共生社会の実現と、物理的にも精神的にもバリアフリー化の取り組みを進め、障がい者が暮らしやすいまちづくりを目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	2	障害者福祉費
細目	1	本庁障害者福祉費

根拠条例等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第８９条の３ 奈良県障害のある人もない人もともに暮らしやすい社会づくり条例
総合計画	基本計画　第２章　第４節　障害者がいきいきと暮らせるまち

補正事業概要（理由含）	①自立支援協議会の活性化 協議会では、定期的な部会を開催し、地域課題の整理、協議を行っている。今後地域全体で障がいのある人の暮らしを支えていくために、関係機関だけでなく、一人でも多くの方に「自立支援協議会」の存在と地域で暮らしを支えるという理念を発信していくために、先進地を視察することで新たな視点に立ち、問題点や方向性を見出す。 マイクロバス運行委託料 2,484円×11時間×3日＝81,972円 ②職員及び関係機関への啓発研修 障がい者及び障がい児が日常生活・社会生活を営む上で生じる社会的障壁を除去するため、障がい者等の理解を深める研修を実施する。 研修会講師謝礼 50,000円×2回×3日＝300,000円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　382千円
備　考	市長公約

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	382
補正額	382
H30補正前予算額	
H30現計予算額	382

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	国民健康保険直営診療所繰出金

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	5	国民健康保険費
細目	1	本庁国民健康保険費

事業の目的

国民健康保険直営診療所の運営に係る一般会計繰出金

根拠条例等	普通交付税算定基準
総合計画	基本計画　第２章　第２節　地域医療体制の充実

補正事業概要（理由含）

国保直営診療所医師に係る人件費分について、国民健康保険事業特別会計（診療施設勘定）に対して繰出す。
繰出金　8,966千円
医師に係る人件費分（給料、職員手当等、共済費、退職手当負担金）

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
国民健康保険会計直営診療所繰出金	16,161	8,966	25,127

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	8,966
補正額	8,966
H30補正前予算額	16,161
H30現計予算額	25,127

特定財源の状況

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	大宇陀小附第１駐車場舗装修繕事業

所管課	104	人権交流センター	（市民環境部）

事業の目的	地域住民の自動車駐車の便宜を図るため設けている大宇陀小附第１駐車場において、路面舗装が経年劣化により破損しているため、速やかに修繕を行い利用者の安全を確保する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	8	人権交流センター費
細目	20	大宇陀地域事務所人権交流センター費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第１節　定住拠点の構築

補正事業概要（理由含）

大宇陀小附第１駐車場の破損箇所から雑草が生え、排水の障害並びに駐車場利用者の歩行に支障をきたしている。また、地下埋設防火水槽があり、駐車禁止ゾーン並びに駐車枠ラインの表示が消えているためその機能を果たしていない。利用者の事故防止また、場内の安全確保のため全面の舗装を行う。

修繕箇所	小附第１駐車場
面積	362.0㎡
舗装工等（区画線工含む）	1,669,680円

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　　0千円
補正後予算額　1,670千円

財源の内訳（単位：千円）

分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	1,670
補正額	1,670
H30補正前予算額	
H30現計予算額	1,670

特定財源の状況

備　考	

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	宇陀市菖蒲谷墓地管理整備事業

所管課	104	人権交流センター	（市民環境部）

事業の目的	宇陀市菖蒲谷墓地の適切な管理運営と安全の確保並びに環境に配慮した整備を推進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	8	人権交流センター費
細目	20	大宇陀地域事務所人権交流センター費

根拠条例等	宇陀市菖蒲谷墓地条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第1章　第2節　生活環境の整備

補正事業概要（理由含）

墓地に隣接している法面の草刈りを行っていただいていたところであるが、斜面の勾配が急で危険である。安全面また管理面等から防草シートの設置を行う。

墓地に隣接している法面の防草に係る工事

品名	数量	金額
除草工	800 ㎡	293千円
法面整地工	100 ㎡	332千円
防草シート施工	800 ㎡	3,874千円
計		4,499千円

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　　0千円
補正後予算額　4,499千円

備　考

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	4,499
補正額	4,499
H30補正前予算額	
H30現計予算額	4,499

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	部落差別に関する相談員（臨時職員）配置事業

所管課	104	人権交流センター	（市民環境部）

事業の目的	同和問題の解消は重要な人権課題であることから、人権相談などの相談体制の充実を図り、部落差別に関する相談に応じるための体制を整え、部落差別のない社会を実現する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	1	社会福祉費
目	8	人権交流センター費
細目	40	菟田野地域事務所人権交流センター費

根拠条例等	部落差別の解消の推進に関する法律
総合計画	基本計画　第４章　第１節　誰もが尊重される共生のまちづくり

補正事業概要（理由含）	平成28年12月に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」第4条に規定されている相談体制の充実を図るため相談員を臨時職員として採用する。 毎週3館（大宇陀・菟田野・室生人権交流センター）を巡回し部落差別に関する相談に応じる。 ◇臨時職員賃金（人権相談員） ・賃金　4時間×14日/月×860円×7ヶ月＝337,120円 ・交通費　7,100円×7ヶ月＝49,700円 合計　386,820円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　387千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	387
補正額	387
H30補正前予算額	
H30現計予算額	387

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	福祉医療（子ども）システム改修事業

所管課	101	保険年金課	（市民環境部）

事業の目的	未就学児の医療費助成について、県内全市町村において平成31年8月から現物給付方式（病院等での受診時の支払いが一部負担金のみ）を導入することに伴いシステムを改修する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
細目	1	本庁児童福祉総務費

根拠条例等	宇陀市子ども医療費助成条例、同条例施行規則
総合計画	基本計画　第2章　第2節　地域医療体制の充実

補正事業概要（理由含）	現行の自動償還方式から未就学児を対象とした現物給付方式導入に伴う福祉医療システム（子ども・ひとり親・障がい者）の改修を行い、現物給付方式に対応する。 （委託料） 現物給付方式導入に伴う福祉医療システム改修費用 5,430,000円×1.08＝5,864,400円 ・改修は県下一斉に行うもので平成30年1月に県内全市町村の合意済み。 ・改修には約6か月を要する。 （負担金） 87,601円 国保連合会の福祉医療システム改修に伴う宇陀市負担金
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　5,953千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	2,000
市債	
その他	
一般財源	3,953
補正額	5,953
H30補正前予算額	
H30現計予算額	5,953

特定財源の状況
福祉医療（子ども）システム改修補助金　2,000千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	生活保護適正実施推進事業（生活保護業務効率化事業）

所管課	121	厚生保護課	（健康福祉部）

事業の目的

生活保護基準額の見直しが行われ、平成30年10月から運用されるため、生活保護システムを改修し、適正な運営を確保する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	3	民生費
項	3	生活保護費
目	1	生活保護総務費
細目	1	生活保護総務費

根拠条例等	セーフティネット支援対策等事業補助金要項（生活保護適正実施推進事業）
総合計画	基本計画　第２章　第６節　心豊かな地域福祉の充実

補正事業概要（理由含）

今年度に入り、①第一類費の年齢階層見直し、②児童養育加算減額、③母子加算減額、④第一類費及び第二類費の段階的減額等の生活保護基準額が見直されたため、既に見直されている内容に加えて生活保護システムの改修を行う。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

内 容	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
生活保護システム改修委託料	648	1,620	2,268

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	810
県費	
市債	
その他	
一般財源	810
補正額	1,620
H30補正前予算額	648
H30現計予算額	2,268

特定財源の状況

生活保護業務効率化事業補助金
810千円

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	地域医療体制整備検討事業

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現のためには、医療提供体制の充実が求められているが、開業医の減少、国保診療所や中核となる市立病院の医師不足など、地域医療を取り巻く環境は厳しさを増している。そのため、医師招聘の方策を中心に調査・検討を進め、将来の地域医療体制の整備・確保を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	1	保健衛生総務費
細目	1	本庁保健衛生総務費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第２章　第２節　地域医療体制の充実

補正事業概要（理由含）	宇陀市（健康福祉部・市立病院）、奈良県、奈良県立医大等において、医師招聘について検討・調査研究を行う。 また、今後の地域医療体制について、有識者、医療関係者と共に民間の医師人材紹介・斡旋会社とも連携し、医師の招聘に向けて協議するとともに先進地（病院等）を視察する。 講師謝金　30,000円×3回＝90,000円 視察旅費　200,000円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　290千円
備　考	市長公約

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	290
補正額	290
H30補正前予算額	
H30現計予算額	290

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	非常勤職員賃金

所管課	42	人事課	（総務部）

事業の目的	市立病院の防災・災害に関する業務を行っている非常勤職員の賃金について、市立病院の給与システム上支払いができないため、一般会計で支払い、同額を市立病院から受け入れる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	6	病院費
細目	1	病院費

根拠条例等	宇陀市非常勤職員に関する規則
総合計画	

補正事業概要（理由含）

非常勤職員賃金等補正内訳
（単位：千円）

	非常勤職員
賃金	3,091
共済費	446
合計	3,537

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　　0千円
補正後予算額　3,537千円

備　考

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	3,537
一般財源	
補正額	3,537
H30補正前予算額	
H30現計予算額	3,537

特定財源の状況

雑入（総務管理費雑入）3,537千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	特定空家指定指導事業

所管課	103	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的	「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、特定空家等に対する措置その他の空家等へ対処し、空家等の適正管理により地域住民の生活環境保全を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	空家等対策の推進に関する特別措置法
総合計画	基本計画　第１章　第２節　生活環境の整備

補正事業概要（理由含）

平成29年度に行った、空家実態調査の結果を基に職員が特定空家指定までの手続きを整理し、職員にて国や県、他市のガイドライン等を参考に認定フロー等を作成する。なお、特定空家を指定するにあたり、専門家の支援を受け、指定までの資料作成や指定を行う特定空家審査協議会への支援を委託し、今後指定に必要となるノウハウを習得する。

（報償費）
特定空家審査協議会委員謝礼　105千円
（旅費）
費用弁償　50千円
（委託料）
特定空家指定指導委託料　3,964千円
合計　4,119千円

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　0千円
補正後予算額　4,119千円

備考

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	4,119
補正額	4,119
H30補正前予算額	
H30現計予算額	4,119

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	飲料水水源調査等検討業務繰出金

所管課	103	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的	水道事業未認可地区の未普及地解消のため、水道計画区域として実施するのか、自己完結型の飲料水施設として実施するのか比較するため調査を行い検討する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	9	上水道費
細目	1	上水道費

根拠条例等	地方公営企業法　第１７条の３
総合計画	基本計画　第３章　第４節　上下水道の整備

補正事業概要（理由含）	自己完結型の飲料水施設に必要な水源についての調査業務に係る水道事業特別会計への繰出金 〔調査対象地区〕 ・大宇陀本郷地区 ・菟田野大神・入谷地区 ・上芳野・岩端地区
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　11,450千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	11,450
補正額	11,450
H30補正前予算額	
H30現計予算額	11,450

特定財源の状況

事業区分	新規	事業名	宇陀市獣肉利活用施設設置事業

所管課	142	農林課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	5	農林水産業費
項	2	林業費
目	2	林業振興費
細目	1	林業振興費

事業の目的

平成26年5月に鳥獣保護法が大きく改正され、鳥獣の捕獲を促進するための新たな措置の導入により、一部の鳥獣について積極的な管理を行う「鳥獣保護管理法」となったことから、野生鳥獣の捕獲数、捕獲した野生鳥獣の食用としての利活用が増加している。

そのため、宇陀市においても農林業被害対策の一環として捕獲されたシカ・イノシシを、豊かな山がもたらす地域の資源として適切な処理と有効活用を行う。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第１節　農林業の活性化

補正事業概要（理由含）

平成26年11月に厚生労働省において作成された「野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針」で、捕獲や運搬、食肉処理などの適切な衛生管理の考え方が示されており、農林業被害対策の一環として捕獲されたシカ・イノシシを、指針に添った適切な処理と有効活用を行うため、獣肉利活用施設の運営団体を公募する。

【補正予算額】

獣肉利活用施設運営団体選定委託料　600千円

【捕獲頭数・個体処理頭数実績】

年　度	捕獲頭数	個体処理頭数
平成25年度	831頭	57頭
平成26年度	866頭	87頭
平成27年度	866頭	118頭
平成28年度	1,006頭	101頭
平成29年度	1,390頭	86頭

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　0千円
補正後予算額　600千円

財源の内訳（単位：千円）

分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	600
補正額	600
H30補正前予算額	
H30現計予算額	600

特定財源の状況

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	道の駅大宇陀施設修繕事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	道の駅大宇陀の施設が老朽化しているため修繕を行う。 利用者の利便性を向上させることで、さらなる誘客が期待でき、地域の活性化につなげることができる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第４節　観光の振興

補正事業概要（理由含）	老朽化しているレストラン、物販コーナー等の空調機器、傷みの激しい２階会議室の内装を修繕する。 ①道の駅大宇陀　空調修繕　3,600千円 ②道の駅大宇陀　内装修理　800千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　4,400千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	4,400
その他	
一般財源	
補正額	4,400
H30補正前予算額	
H30現計予算額	4,400

特定財源の状況
過疎対策事業債　4,400千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	道の駅室生施設空調設備整備事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	道の駅室生こもれび市場に空調設備を整備することにより、野菜の鮮度の保持、利用者の滞在時間の増加等、利便性を向上させ、売上げの向上及び道の駅全体の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	1	商工振興費
細目	1	本庁商工振興費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第４節　観光の振興

補正事業概要（理由含）	道の駅室生こもれび市場への空調設備の設置 設計委託料　1,500千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　1,500千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	1,500
その他	
一般財源	
補正額	1,500
H30補正前予算額	
H30現計予算額	1,500

特定財源の状況
過疎対策事業債　1,500千円

事業区分	新規	事業名	インバウンド観光状況調査事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	宇陀市に外国人観光客（インバウンド観光）を誘客するにあたり、Wi-Fi環境やキャッシュレス（カード支払い）、多言語表記のニーズを調査し、地域のおもてなし力の向上を促進する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第４節　観光の振興

補正事業概要（理由含）

Wi-Fi環境、キャッシュレス、多言語表記のニーズ調査を行うとともに、金融機関と連携し、必要なエリアでのキャッシュレス体制の実現を目指す。

（単位：千円）

報償費	モニター調査謝礼	180
委託料	インターネット調査	300
	モニター調査	600
	報告書作成	300
合計		1,380

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　　0千円
補正後予算額　1,380千円

備　考

市長公約

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	1,380
補正額	1,380
H30補正前予算額	
H30現計予算額	1,380

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	室生寺前観光待合施設（おもてなしステーション）整備負担金事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	現在の室生寺前の観光待合施設は雨天時や夏期・冬期に観光客に不便な状況となっており、観光リピーター率を下げる要因となっている。平成29年4月に奈良県と締結した「奈良県と宇陀市のまちづくりに関する基本協定」に基づく「室生寺門前及び室生口大野駅周辺地区まちづくり基本構想」の中の課題の一つとされていることから、新たに待合施設を整備し、地域のおもてなしステーションとすることで観光客をリピーター化させ、地域の活性化につなげる。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第４節　観光の振興

補正事業概要（理由含）	事業実施場所の地元である室生寺（予定場所の土地は室生寺所有地を使用）、室生寺の住職、宇陀市室生の住民が地域活性化のため組織した任意団体「ウー（べんいち）魂心会」が行う待合施設整備事業（完成後は周遊イベントや、物産販売、野菜直販等を行う予定、また完成後は施設管理、運営、活用を担う）に対して負担金を支払う。
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　5,643千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	5,600
その他	
一般財源	43
補正額	5,643
H30補正前予算額	
H30現計予算額	5,643

特定財源の状況
過疎対策事業債　5,600千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	宇陀市観光施設整備等事業補助事業

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

事業の目的	市内の団体等が主体となって行う観光施設整備等に要する経費に対し補助を行い、観光事業の振興を図るとともに地元地域のおもてなし力の向上を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	2	観光費
細目	1	本庁観光費

根拠条例等	宇陀市観光施設整備等事業費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第５章　第４節　観光の振興

補正事業概要（理由含）	宇陀市観光施設整備等事業費補助金交付要綱に基づき補助を行う。 200,000円×5団体＝1,000,000円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　1,000千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	1,000
補正額	1,000
H30補正前予算額	
H30現計予算額	1,000

特定財源の状況

事業区分	新規	事業名	毛皮革産業振興協議会負担金事業（高付加価値事業）

所管課	146	商工観光課	（農林商工部）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	6	商工費
項	1	商工費
目	4	産業振興センター費
細目	1	産業振興センター費

事業の目的

奈良県と宇陀市の地場産業である毛皮革産業をさらに市外や奈良県外に大きくＰＲし、良質な製品を手にとっていただく機会を増やす。
また、新規製品開発のきっかけとなるデザインコンテストや、技術・モチベーション向上の促進に向けた既存事業者の研修会、人材（技術取得者）の育成に向けた技術講習等を行い、産業の活性化・振興を図る。

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第５章　第２節　商工業の活性化

補正事業概要（理由含）

毛皮革産業振興協議会が実施する毛皮革製品ＰＲのためのデザイン促進事業、毛皮革産業人材育成事業に対する負担金

①毛皮革製品デザイン促進事業
都心部等で、商談会や展示会などを行いＰＲする。デザインコンテスト、モニター調査等で新規商品や既存商品の磨き上げを行う。また異業種間の交流も取り入れた企画を行い、産業の活性化を図る。

②毛皮革産業人材育成事業
毛皮革産業の技術習得者の育成、モチベーションの向上を図るための県外研修会、講演会への参加を行う。

補正増減内容（補正前、補正後）

事業費　6,681,680円
うち、国庫補助金3,750,000円（協議会へ直接補助）
市負担金　2,931,680円

（単位：円）

旅費	807,560
製品試作費	200,000
展示会場賃借料	1,532,000
装飾費	430,000
印刷費	1,420,000
集計分析費	800,000
教材作成費	810,000
その他	682,120
合計	6,681,680

財源の内訳（単位：千円）

分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	2,932
補正額	2,932
H30補正前予算額	
H30現計予算額	2,932

特定財源の状況

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	都市計画道路見直し

所管課	161	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的	これまでの都市計画道路は、人口増加、市街地の拡大を前提として計画してきた。しかしながら、今後は人口減少・高齢社会の到来など、社会情勢が変化していることから、未着手の都市計画道路について検証し、見直しを進める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	1	都市計画総務費
細目	1	本庁都市計画総務費

根拠条例等	平成22年「奈良県都市計画道路見直しガイドライン」
総合計画	基本計画　第３章　第２節　道路交通網の整備

補正事業概要（理由含）	平成28年度から見直し作業を実施しており、未着手の都市計画道路についてデータ整備を委託し図書の変更を行う。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科 目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
委託料	0	700	700
合 計	0	700	700

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	700
補正額	700
H30補正前予算額	
H30現計予算額	700

特定財源の状況

備　考	

事業区分	新規	事業名	宇陀川公園整備事業

所管課	163	公園課	（建設部）

事業の目的

公園用地として都市計画変更（平成11年7月28日）の承認がされている旧榛原町庁舎跡地に街区公園を設置する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	2	公園費
細目	1	公園費

根拠条例等	宇陀市公園条例
総合計画	基本計画　第１章　第５節　公園・緑地の整備

補正事業概要（理由含）

宇陀川公園整備事業
　・実施設計業務委託・・・4,800千円
公園面積（都市計画）　A=0.17ha
　中心市街地と河川空間の一体感と景観形成を醸し出し、地域住民の健康及び憩いの空間スペースを創設する。また、隣接する公共施設等と調和のとれた整備を行う。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
委託料	0	4,800	4,800
合　計	0	4,800	4,800

財源の内訳（単位：千円）

分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	4,500
その他	
一般財源	300
補正額	4,800
H30補正前予算額	
H30現計予算額	4,800

特定財源の状況

合併特例債　4,500千円

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	榛原駅前整備事業

所管課	161	まちづくり推進課	（建設部）

事業の目的	宇陀市の中心市街地である近鉄榛原駅周辺において、宇陀市総合計画に示された「まちの玄関としてふさわしい環境づくり」に則した、低未利用地の整備を行なうことにより、榛原駅を拠点とした賑わいの創出、地域商業の活性化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	4	都市計画費
目	3	社会資本整備推進事業費
細目	3	榛原駅前整備事業費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第３節　公共交通機関の充実、第５章　第２節　商工業の活性化

補正事業概要（理由含）

平成29年度に引き続き事業用地の取得を進める。
また、事業用地の取得に伴う工作物補償費、家屋補償費再算定委託、不動産鑑定を計上する。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
事業用地取得	0	60,000	60,000
補償費	0	7,000	7,000
委託料	0	1,500	1,500
不動産鑑定等	11	380	391
合計	11	68,880	68,891

財源の内訳（単位：千円）

分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	65,000
その他	
一般財源	3,880
補正額	68,880
H30補正前予算額	11
H30現計予算額	68,891

特定財源の状況

合併特例債　65,000千円

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	宇陀市産木材を活用した市営住宅等建設調査事業

所管課	182	公営住宅課	（建設部）

事業の目的	宇陀市の気候、風土に適した宇陀市産の木材を使用した良質で魅力ある木造市営住宅を整備し、子育て世代等の入居を推進するなど、定住促進を図るための住宅施策を進める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	5	住宅費
目	1	住宅管理費
細目	1	本庁住宅管理費

根拠条例等	宇陀市営住宅条例・宇陀市特定公共賃貸住宅条例
総合計画	基本計画　第３章　第１節　定住拠点の構築

補正事業概要（理由含）

宇陀市産木材を使用した市営住宅整備に向け、木造市営住宅の魅力や、耐久性・耐火性向上、遮音性確保、コスト制御及び定住促進住宅に関する現地調査を行う。

先進地視察、現地調査研究旅費
（関係課2名＋技師2名）×37,800円×2（往復）＝　303千円

【視察・現地調査予定地】

自治体名	取組み概要
石川県能美市	木造公営住宅（耐久性向上の取組み）
岐阜県中津川市	
徳島県	木造市営住宅（県内産）
香川県綾川町	移住・定住促進住宅
愛知県豊田市	木造市営住宅（市内産）

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
旅費	0	303	303

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	303
補正額	303
H30補正前予算額	
H30現計予算額	303

特定財源の状況

備　　考	市長公約

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	市営住宅ストック総合改善事業（笠神団地外壁防水）

所管課	182	公営住宅課	（建設部）

事業の目的	市営住宅の維持保全のため、外壁が劣化している集合住宅の外壁防水工事を施工することにより、躯体部分の劣化を軽減し長寿命化を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	5	住宅費
目	1	住宅管理費
細目	1	本庁住宅管理費

根拠条例等	宇陀市営住宅条例、宇陀市特定公共賃貸住宅条例
総合計画	基本計画第３章　第１節　定住拠点の構築

補正事業概要（理由含）	菟田野笠神団地外壁防水工事　1棟（25戸） 平成9年築の集合住宅である菟田野笠神団地（1棟25戸）は、築後20年以上が経過し外壁の劣化により躯体部分に影響を及ぼす可能性があるため社会資本整備総合交付金（防災・安全）を活用して外壁防水工事を行う。 ・外壁防水工事設計業務委託　1,800千円 ・外壁防水工事監理業務委託　1,500千円 ・外壁防水工事費　61,000千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　64,300千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	28,975
県費	
市債	36,300
その他	
一般財源	▲ 975
補正額	64,300
H30補正前予算額	
H30現計予算額	64,300

特定財源の状況
地域住宅政策交付金　28,975千円 合併特例債　36,300千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	市営住宅管理事業（上笠神団地配管修繕）

所管課	182	公営住宅課	（建設部）

事業の目的

公営住宅法・住宅地区改良法・特定優良賃貸住宅の供給の促進に関する法律に基づき、住宅に困窮している方に低廉で優良な住宅の供給を図り、市営住宅の安定供給と福祉の増進に寄与する。

宇陀市一般会計予算

区分	No.	区分名
款	7	土木費
項	5	住宅費
目	1	住宅管理費
細目	1	本庁住宅管理費

根拠条例等	宇陀市営住宅条例、宇陀市営改良住宅条例、宇陀市特定公共賃貸住宅条例
総合計画	基本計画　第３章　第１節　定住拠点の構築

補正事業概要（理由含）

平成15年竣工・木造3階建の菟田野上笠神団地（30戸）は、給水管及び給湯器が屋外に配置されており、15年経過したことにより断熱保護材等が劣化している。
平成30年2月の寒波により8割以上の住戸で給湯器及び配管が凍結し、給水管及び配管の破損が多発し、入居者の生活に支障をきたしたため修繕を行う。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科 目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
賃金	6,000		6,000
旅費	19		19
需用費	11,492	3,000	14,492
役務費	739		739
委託料	4,877		4,877
使用料及び賃借料	1,419		1,419
工事請負費	100		100
原材料費	85		85
備品購入費	605		605
負担金補助及び交付金	120		120
合計	25,456	3,000	28,456

財源の内訳（単位：千円）

分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	3,000
補正額	3,000
H30補正前予算額	25,456
H30現計予算額	28,456

特定財源の状況

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	避難所設備強化事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	災害の発生に備え、災害活動体制の万全を期し、応急対策を強力かつ迅速に推進する。また、迅速かつ適切な防災体制を整備することにより、住民の生命及び財産の保護に努める。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第５節　安全・安心な暮らしの実現

補正事業概要（理由含）	福祉避難所（各保健センター）における要支援者対策として、紙おむつ・シーツ・段ボールベッドを配備する。 （需用費） 紙おむつ・シーツ等　160千円 段ボールベッド　200千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　93千円 補正後予算額　453千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	360
一般財源	
補正額	360
H30補正前予算額	93
H30現計予算額	453

特定財源の状況
地域づくり推進基金繰入金 360千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	災害時医療救護活動用医薬備蓄品配備事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	災害が発生した場合、宇陀市地域防災計画に基づいた、負傷者等に対する医療及び助産等の医療救護活動を円滑に行うためには、関係機関の協力により早期に広域的医療活動を実施することが必要不可欠であることから、市の医療救護活動用医薬備蓄品（災害時備蓄医薬品・医療器材）を配備するとともに、広域の応援協力体制の充実を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	3	災害対策費
細目	1	災害対策費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第５節　安全・安心な暮らしの実現

補正事業概要（理由含）	概ね震度6弱以上の地震や風水害、土砂崩れ等による大規模災害等により市内に甚大な被害が発生した場合、宇陀地区医師会との災害時医療救護活動についての協定に基づいた医療、救護活動に必要な備蓄医薬品の配備を行う。 （需用費） 医療救護活動用医薬備蓄品　620千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　620千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	620
一般財源	
補正額	620
H30補正前予算額	
H30現計予算額	620

特定財源の状況
地域づくり推進基金繰入金 620千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	小型動力ポンプ付積載車購入事業

所管課	43	危機管理課	（総務部）

事業の目的	消防資機材の整備により消防団活動の充実強化を図り、宇陀市民の安全と安心を確保する。 迅速・確実な初期消火活動及び防御活動に万全を期すため、小型動力ポンプ積載車の更新を行い、地域住民の安心・安全の確保を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	8	消防費
項	1	消防費
目	5	消防施設費
細目	1	本庁消防施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第３章　第５節　安全・安心な暮らしの実現

補正事業概要（理由含）

災害時における機動力の確保、故障や不具合等の不安解消など、消防力の充実強化を図る。

小型動力ポンプ付積載車更新

科目名	予算額	備　　考
役務費	89千円	諸経費（車両登録手数料等）
備品購入費	15,120千円	積載車　2台
公課費	50千円	自動車重量税
合　計	15,259千円	

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　　0千円
補正後予算額　15,259千円

備　　考

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	15,100
その他	
一般財源	159
補正額	15,259
H30補正前予算額	
H30現計予算額	15,259

特定財源の状況

緊急防災・減災事業債
15,100千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	プログラミング教育の導入に伴う調査・研究事業

所管課	606	教育総務課	（教育委員会事務局）

事業の目的	平成29年3月に告示された新学習指導要領において、情報活用能力を「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけ、小学校でプログラミング的思考を育成するため、平成32年度からプログラミング教育が必修化されることが定められた。 宇陀市では平成31年度からの先行導入に向けて、今年度において、指導者の育成及びモデル校での実践研究を実施する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
細目	1	本庁事務局費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第４章　第３節　教育環境の整備・充実

補正事業概要（理由含）	①プログラミング教育担当者研修会の実施 教育・研究機関から講師を招き、各学校のプログラミング教育担当者向けの研修会を実施する。 ・講師謝礼等　33千円 ②校内研修（体験型研修会）の実施 各学校において、全教員を対象に、実際の教材を使って体験型の研修会を実施する。 ・プログラミング教育教材購入費　1,185千円 ・プログラミング教育地域アドバイザー謝礼　18千円 ③モデル校における実践研究の実施 モデル校を指定し、モデル的に実践研究を行う。 ・ロボット使用料　150千円 ・臨時講師賃金　571千円
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　1,957千円
備　考	市長公約

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	1,957
補正額	1,957
H30補正前予算額	
H30現計予算額	1,957

特定財源の状況

事業区分	継続	事業名	文化会館舞台照明設備改修事業

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的

市民の文化・芸術活動の場となっている文化会館は、機器の老朽化が進んでいることから、設備の改修・更新を計画的に行い、施設の長寿命化を目指し、生涯学習環境の充実を図る。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
細目	21	文化会館費

根拠条例等	宇陀市文化会館条例
総合計画	基本計画　第４章　第４節　生涯学習の充実

補正事業概要（理由含）

供用開始された平成2年から更新されていない舞台照明設備の調光盤等（分電盤・調光機能）の改修を行う。

（単位：千円）

科　目	補正予算額
設計管理委託料	1,000
舞台照明設備改修工事	20,520
備品購入費（LEDスポットライト）	1,556
合計	23,076

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　0千円
補正後予算額　23,076千円

備　考

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	20,400
その他	
一般財源	2,676
補正額	23,076
H30補正前予算額	
H30現計予算額	23,076

特定財源の状況

合併特例債　20,400千円

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	国指定史跡森野旧薬園保護事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的	享保14年(1729年)、幕府から官園において栽培していた貴重な種苗を下付され、これを植えたことによって、薬園がはじまる。大正15年には、国史跡に指定され、史跡地内には、桃岳庵や石水亭などの建造物も遺存し、薬園としての旧態が良く保たれている。しかし、近年は、周辺部において杉や竹などが繁茂し、環境の悪化が進んでおり、建造物の傷みも著しい。また、薬草畑の一部では、管理が行き届かない場所も認められ、荒廃が進行しつつあるため、適切な保存・管理を行うため、保存活用計画書に沿った保護事業を行う。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
細目	26	史跡森野旧薬園整備事業費

根拠条例等	文化財保護法
総合計画	基本計画　第５章　第３節　歴史・文化資源の保全と活用

補正事業概要（理由含）

平成30年度の国庫補助金交付額が、申請額より減額されて交付されることとなった為、当初予定していた賽郭嗣堂補修設計等を減額し、桃岳庵改修工事を平成30・31年度の2カ年事業に変更し実施する。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
報償費	57	0	57
旅費	53	0	53
需用費	5	0	5
委託料	4,287	▲ 3,116	1,171
工事請負費	30,000	▲ 12,384	17,616
合　計	34,402	▲ 15,500	18,902

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	▲ 7,950
県費	▲ 4,770
市債	
その他	▲ 2,120
一般財源	▲ 660
補正額	▲ 15,500
H30補正前予算額	34,402
H30現計予算額	18,902

特定財源の状況

史跡森野旧薬園保存整備事業費補助金（国）　▲7,950千円
（県）　▲4,770千円
社会教育費雑入（所有者負担金）　▲2,120千円

備　考

債務負担行為限度額　12,900千円（平成31年度）

事業区分	新規	事業名	働く子育て世代の図書館利用の充実事業

所管課	661	図書館	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	5	図書館費
細目	1	図書館費

事業の目的

図書館の現在の開館時間（9：30～17：00）が、市民ニーズから適切かどうか調査を行い実態を把握する。
また、絵本ライブや試行で行う延長時間を活用しておはなし会を開催し、親子が共に過ごせるレクリエーションの場を創出する。

根拠条例等	宇陀市教育大綱　基本方針　２　夢を育む教育環境づくり
総合計画	基本計画　第４章　第４節　生涯学習の充実

補正事業概要（理由含）

開館時間について、子どもと一緒に利用したり、働く子育て世代等の市民ニーズを把握するため、広報うだ、うだチャン等により周知を行い、試験的に中央館（榛原）で開館時間の延長を実施する。
・開館時間延長の試行
　試行期間：8月1日～10月31日　（休館日を除く）
　延長時間：17:00～20:00
・親子で楽しむ絵本ライブの開催
・延長時間内でのおはなし会

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正予算額
賃金（臨時職員）	687
旅費（普通旅費）	30
需用費（光熱水費）	542
委託料（親子で楽しむ絵本ライブ開催委託）	108
備品購入費（図書購入費）	108
合　計	1,475

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	1,475
補正額	1,475
H30補正前予算額	
H30現計予算額	1,475

特定財源の状況

備　考

市長公約

事業区分	継続	事業名	街なみ環境整備事業

所管課	604	文化財課	（教育委員会事務局）

事業の目的	街なみ環境整備事業は、宇陀松山地区重要伝統的建造物群保存地区を包含し、街なみ環境整備事業実施区域において、質の高い歴史的な街なみとして景観を保存するとともに、そこに暮らす人々が住みやすい住環境を整備するという事業目的を持っている。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	5	社会教育費
目	6	街なみ環境整備事業費
細目	20	街なみ環境整備事業費

根拠条例等	国土交通省　街なみ環境整備事業制度要綱
総合計画	基本計画　第５章　第３節　歴史・文化資源の保全と活用

補正事業概要（理由含）

春日門跡周辺の公園整備として、民家の買い上げ及び土地買収を行い、公園整備工事を実施する。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
需用費	182	0	182
役務費（不動産鑑定等）	2	169	171
委託料（建物補償調査）	0	1,653	1,653
使用料・賃借料	331	0	331
負担金・補助金	100	0	100
工事請負費（春日門公園整備）	0	13,520	13,520
公有財産購入費（土地購入）	0	3,000	3,000
補償・補填（建物移転補償）	0	8,800	8,800
合　計	615	27,142	27,757

財源の内訳（単位：千円）

分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	13,070
県費	
市債	13,400
その他	
一般財源	672
補正額	27,142
H30補正前予算額	615
H30現計予算額	27,757

特定財源の状況

街なみ環境整備事業費補助金　13,070千円
合併特例債　13,400千円

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	社会体育施設等個別施設計画策定一次評価事業

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

事業の目的	「宇陀市公共施設等総合管理計画」策定に伴い、保有する社会体育施設・生涯学習施設の安全・安心な利用のため、施設の現況評価を行い、今後の施設の方向性（維持、改善、改廃）の資料とする。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	2	体育施設費
細目	1	本庁体育施設費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第４章　第５節　スポーツ・レクリエーションの充実

補正事業概要（理由含）

社会体育施設・生涯学習施設について、厳しい財政状況での施設の老朽化の進行という状況の中、施設の方向性（維持、改善、改廃）を計画的に進めていくため、施設の現状を把握する必要があることから、基礎資料を作成するにあたり、施設評価を委託する。

（単位：千円）

科　目	補正予算額
個別施設計画策定業務 一次評価委託料	12,960
合計	12,960

補正増減内容（補正前、補正後）

補正前予算額　　0千円
補正後予算額　12,960千円

備　考

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	12,960
補正額	12,960
H30補正前予算額	
H30現計予算額	12,960

特定財源の状況

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	体育施設管理運営事業（大宇陀ふれあい交流ドーム雨漏り修繕、市内グラウンド整備）

所管課	602	生涯学習課	（教育委員会事務局）

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	6	保健体育費
目	2	体育施設費
細目	1	本庁体育施設費

事業の目的

それぞれの競技種目の練習及び競技大会での使用、また、年齢や体力に応じたスポーツやレクリエーションを気軽に楽しめる体育施設の設備充実を図る。

根拠条例等	宇陀市体育施設条例
総合計画	基本計画　第４章　第５節　スポーツ・レクリエーションの充実

補正事業概要（理由含）

テニス・ゲートボール・イベント等で、多数の方が利用されている大宇陀ふれあい交流ドームにおいて、建築から13年（平成16年築）が経ち、雨漏りでドーム内に支障が生じている。平成29年度に行った雨漏り原因調査の結果、コーティング劣化によるものと診断されたため修繕を行う。

また、各4カ所の運動場において、長年の使用によりグラウンド内数箇所に高低差が生じており、雨天後に大きな水たまりがでる運動場もある。そのため、グラウンドへの砂の投入を行い、高低差をなくすための整備委託を行い、水たまり解消・水はけ改善を図る。

補正増減内容（補正前、補正後）

大宇陀ふれあい交流ドーム雨漏りに伴う修繕

（単位：千円）

科　目	補正予算額
修繕料	8,856
合計	8,856

グラウンド整備委託料（4地域運動場）

（単位：千円）

科　目	補正予算額
グラウンド整備委託料	10,000
合計	10,000

財源の内訳（単位：千円）

分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	8,800
その他	
一般財源	10,056
補正額	18,856
H30補正前予算額	33,040
H30現計予算額	51,896

特定財源の状況

過疎対策事業債　8,800千円

備　考

事業区分	新規	事業名	給食センター建替えに伴う資料作成事業

所管課	621	学校給食センター	（教育委員会事務局）

事業の目的	現在の学校給食センターは、築後43年が経過し、建物・設備共に老朽化が進んでいる。 学校給食センターの建替えにより、子どもたちに安全で安心な学校給食を提供する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	9	教育費
項	7	学校給食費
目	1	学校給食費
細目	1	学校給食費

根拠条例等	宇陀市立学校給食センター条例
総合計画	基本計画　第４章　第３節　教育環境の整備・充実

補正事業概要（理由含）

施設の概要や場所の選定などの資料収集作成等業務について委託する。
- 施設概要の検討資料
- 場所選定の資料収集
- スケジュールの検討
- 法令関連の調査検討

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
委託料	0	4,050	4,050
合　計	0	4,050	4,050

財源の内訳（単位：千円）

分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	
一般財源	4,050
補正額	4,050
H30補正前予算額	
H30現計予算額	4,050

特定財源の状況

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	東榛原市民農園災害復旧事業

所管課	163	公園課	（建設部）

事業の目的	台風により被害を受けた東榛原市民農園の復旧工事を行い、早期の完成を目指す。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	10	災害復旧費
項	2	公共土木施設災害復旧費
目	1	公共土木施設災害復旧費
細目	3	公園施設災害復旧費

根拠条例等	
総合計画	本計画　第１章　第５節　公園・緑地の整備

補正事業概要（理由含）

平成29年10月21日～23日の台風21号による東榛原市民農園法面の災害復旧に係る測量設計、地質調査を進めており、これらの完了後、二次災害を防ぐ対策を行った後、復旧工事を実施する。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
工事請負費	0	85,000	85,000
合　計	0	85,000	85,000

財源の内訳（単位：千円）

分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	80,700
その他	
一般財源	4,300
補正額	85,000
H30補正前予算額	
H30現計予算額	85,000

特定財源の状況

合併特例債　80,700千円

備　考	

平成 30 年度 宇陀市　　一般会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	天満台南緑地災害復旧事業

所管課	163	公園課	（建設部）

事業の目的	台風により被害を受けた天満台南緑地の復旧工事を行い、周辺住民の生活の安全を確保する。

宇陀市一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	10	災害復旧費
項	2	公共土木施設災害復旧費
目	1	公共土木施設災害復旧費
細目	3	公園施設災害復旧費

根拠条例等	
総合計画	基本計画　第１章　第５節　公園・緑地の整備

補正事業概要（理由含）	平成29年10月21日～23日の台風21号による天満台南緑地法面の災害復旧に係る測量設計、地質調査を進めておりこれらの完了後、復旧工事を実施し、周辺住民の生活の安全を確保する。

補正増減内容（補正前、補正後）

（単位：千円）

科　目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
工事請負費	0	80,000	80,000
合　計	0	80,000	80,000

財源の内訳（単位：千円）	
分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	80,000
その他	
一般財源	
補正額	80,000
H30補正前予算額	
H30現計予算額	80,000

特定財源の状況

単独災害復旧事業債　80,000千円

備　考	

平成 30 年度 宇陀市　住宅新築資金等貸付事業特別会計　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	住宅新築資金等貸付事業（前年度繰上充用）

所管課	102	人権推進課	（市民環境部）

事業の目的	歴史的社会的理由により生活環境等の安定向上が阻害されている地域の環境改善を図るため、旧町村条例に基づき貸付を行っていた「住宅新築資金」、「宅地取得資金」、「住宅改修資金」について、貸付を行った資金を公正で適正かつ効率的に回収する。

宇陀市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算

区分	No.	区分名
款	3	前年度繰上充用金
項	1	前年度繰上充用金
目	1	前年度繰上充用金
細目	1	前年度繰上充用金

根拠条例等	地方自治法施行令第１６６条の２
総合計画	基本計画　第４章　第１節　誰もが尊重される共生のまちづくり

補正事業概要（理由含）

住宅新築資金等貸付事業特別会計は奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合からの返戻金をもって地方債の元利償還金を返済する会計処理を行っており、平成29年度において、306,586,394円の歳入不足が生じたので、当該金額の繰上充用（地方自治法施行令第166条2）を行う。

なお、住宅新築資金等にかかる貸付金の回収業務は、平成17年1月から本市を含め20市町村で奈良県住宅新築資金等貸付金回収管理組合を構成して、その回収に努めている。

補正増減内容（補正前、補正後）

平成29年度　（単位：円）

歳入

返戻金	償還金推進費補助金	一般会計繰入金	合計
18,561,310	2,154,000	6,437,214	27,152,524

歳出

公債費	前年度繰上充用額	負担金	合計
16,543,084	311,477,834	5,718,000	333,738,918

歳入－歳出＝ ▲ 306,586,394 円

財源の内訳（単位：千円）

分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	306,587
一般財源	
補正額	306,587
H30補正前予算額	
H30現計予算額	306,587

特定財源の状況

回収管理組合返戻金
306,587千円

備　考	

平成 30 年度 宇陀市　国民健康保険事業特別会計（直診）　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	宇陀市国民健康保険直営診療所事業（職員人件費）

所管課	123	健康増進課	（健康福祉部）

宇陀市国民健康保険事業特別会計（直診）予算		
区分	No.	区分名
款	1	総務費
項	1	施設管理費
目	1	一般管理費
細目	1	一般管理費

事業の目的

国民健康保険法の規定に基づき、国民健康保険の被保険者等住民に対し療養の給付を行うため、宇陀市国民健康保険直営診療所を設置する。

根拠条例等	宇陀市国民健康保険直営診療所条例、宇陀市国民健康保険直営診療所管理運営規則
総合計画	基本計画　第２章　第２節　地域医療体制の充実

補正事業概要（理由含）

国保直営診療所の医師について、派遣医師による負担金のみを計上していたため、医師の給料等の人件費を補正する。

（単位：千円）

内 容		金額
給料		4,676
職員手当等	扶養手当	63
	地域手当	160
	住居手当	10
	期末手当	900
共済費		1,990
負担金、補助及び交付金	退職手当負担金	1,167
合 計		8,966

補正増減内容（補正前、補正後）

【歳入】8,966千円（一般会計繰入金）
【歳出】8,966千円

（単位：千円）

科目	補正前予算額	補正予算額	補正後予算額
給料	8,952	4,676	13,628
職員手当等	4,671	1,133	5,804
共済費	3,075	1,990	5,065
負担金、補助及び交付金	1,791	1,167	2,958
合 計	18,489	8,966	27,455

財源の内訳（単位：千円）

分担金・負担金	
使用料・手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	8,966
一般財源	
補正額	8,966
H30補正前予算額	18,489
H30現計予算額	27,455

特定財源の状況

一般会計繰入金　8,966千円

備　考

平成 30 年度 宇陀市　　水道事業特別会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	飲料水水源調査等検討事業

所管課	502	水道局施設課	（水道局）

事業の目的	水道事業未認可地区の未普及地解消のため、水道計画区域として実施するのか、自己完結型の飲料水施設として実施するのか比較するため調査を行い検討する。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	水道事業費用
項	2	営業外費用
目	6	雑支出（簡水）
細目		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　第３章　第４節　上下水道の整備

補正事業概要（理由含）	自己完結型の飲料水施設に必要な水源についての調査を行う。 〔調査対象地区〕 ・大宇陀本郷地区 ・菟田野大神・入谷地区 ・上芳野・岩端地区 〔調査内容〕 設計協議・現地調査施設計画・現況の把握・基本事項の決定・浄水方法の決定・施設計画・水利構造計算・設計図作成・概算事業費の算出・照査
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　11,450千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	
その他	11,450
一般財源	
補正額	11,450
H30補正前予算額	
H30現計予算額	11,450

特定財源の状況
他会計補助金　11,450千円

平成 30 年度 宇陀市　　水道事業特別会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	継続	事業名	遠隔監視装置更新事業

所管課	502	水道局施設課	（水道局）

事業の目的	合併以前から使用していた遠隔監視装置の老朽化に伴うシステム更新を行い、安全な水を安定して供給することを目的とする。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	資本的支出
目	2	水道建設事業費
細目		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　第３章　第４節　上下水道の整備

補正事業概要（理由含）	老朽化している遠隔監視装置更新詳細設計委託を行う。なお、遠隔監視装置は水道局舎で市内浄水場、配水池等110箇所の状況を監視等することができ、必要な対応を迅速に行うために重要な装置である。
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　39,100千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	39,000
その他	
一般財源	100
補正額	39,100
H30補正前予算額	
H30現計予算額	39,100

特定財源の状況
企業債　39,000千円

平成 30 年度 宇陀市　　水道事業特別会計　　補正予算［第 1 号］ 事業別シート

事業区分	新規	事業名	橋梁添架管復旧事業

所管課	502	水道局施設課	（水道局）

事業の目的	河川橋梁に添架している水道本管の凍結や老朽化による水道の漏水が発生したため、復旧を行い、安全な水を安定して供給する。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	資本的支出
目	5	水道建設事業費（簡水）
細目		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　第３章　第４節　上下水道の整備

補正事業概要（理由含）	現在、仮復旧となっているため、本復旧に向けた設計業務を委託する。 ・鳴海橋（宇陀市室生三本松） 一級河川宇陀川（国土交通省管理） 橋梁添架工口径φ75　L=56m 設計協議・現地調査・施工計画・詳細設計（新設・撤去）・測量1式 ・河合板橋（宇陀市大宇陀野依） 一級河川宇陀川（奈良県管理） 橋梁添架工口径φ75　L=22m 設計協議・現地調査・施工計画・詳細設計（新設・撤去）・測量1式
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　9,750千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	9,700
その他	
一般財源	50
補正額	9,750
H30補正前予算額	
H30現計予算額	9,750

特定財源の状況
企業債　9,700千円

事業区分	継続	事業名	室生中央水道事業

所管課	502	水道局施設課	（水道局）

事業の目的	室生（大野）地区への県営水道の供給を行い、安定した水量を確保し、生活基盤の改善を図る。

宇陀市水道事業特別会計予算		
区分	No.	区分名
款	1	資本的支出
項	1	建設改良費
目	5	水道建設事業費（簡水）
細目		

根拠条例等	水道法第１５条
総合計画	基本計画　第３章　第４節　上下水道の整備

補正事業概要（理由含）	大野上水道区域を奈良県営水道区域として供給するための工事を行う。 ・送配水管工事 仮設配水管布設　Ｌ＝350m 送水管布設　φ75　Ｌ＝430m 配水管布設　φ50　Ｌ＝340m 受水流量計計装設備　1式 ・認可変更業務委託　1式
補正増減内容（補正前、補正後）	補正前予算額　0千円 補正後予算額　60,050千円
備　考	

財源の内訳（単位：千円）	
分担金･負担金	
使用料･手数料	
国費	
県費	
市債	60,000
その他	
一般財源	50
補正額	60,050
H30補正前予算額	
H30現計予算額	60,050

特定財源の状況
企業債（県営水道転換支援資金貸付金）　60,000千円